

# 認知症 訪問看護利用のための チェックリスト

認知症が疑われる場合は、当ステーションにご相談ください!!

訪問看護では、認知症の方の症状を安定させ、ご家族の困りごとにも対応します。軽度の時から関わることで重度化を予防し、住み慣れた地域でその人らしく暮らすことのサポートをします。該当する症状の方がいらっしゃる場合は、当ステーションにご相談ください。

あてはまることはありますか?

## (1) こんな症状がある (認知症状)

- もの忘れが激しく、食事をしたことも忘れる
- 言葉の意味が分からず、会話のつじつまが合わない
- 怒りっぽく、興奮すると暴言や暴力をふるう
- 認知症ではないかと心配している
- 不安があり、ふさき込んでいる

## (2) こんな症状がある (身体症状)

- 何日も排便がない
- 入浴をイヤがる
- 水分が摂れていない
- 隠れた疾患等かあるのではないか

## (3) 介護者の負担がある

- 介護のため、ゆっくりと休む暇がない
- 介護者がどう接していいかわからなくなっている
- 介護者がイライラしている
- 虐待が疑われる
- 昼夜逆転して夜中に何度も起こされる、また一人で勝手に出かけてしまう

## (4) 在宅生活の継続は無理ではないか?

- このまま一人暮らしを続けたいと希望している
- 住み慣れた家で家族と暮らし続けることを希望している
- 本人が拒否してサヒスを導入することができない

## (5) 予防効果を期待したい

- 処方されている薬が飲めなくなった
- 医療機関に受診できない
- 症状が進むのを抑えたい

※ 予防=認知症にならない、ということではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を穏やかにする」という意味です。(認知症施策推進大綱により)

訪問看護師へご相談ください

裏面で事例を  
紹介します



# 訪問看護の導入事例 (認知症)

## チェックシートが下記のようなお客様

### (1) こんな症状がある(認知症状)

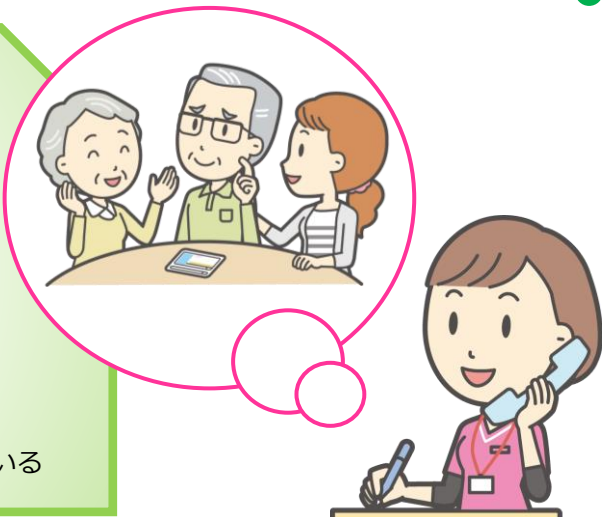
- 言葉の意味が分からず、会話のつじつまが合わない
- 怒りっぽく、興奮すると暴言や暴力をふるう

### (3) 介護者の負担がある

- 介護のため、ゆっくりと休む暇がない
- 介護者がどう接していいかわからなくなっている

### (4) 在宅生活の継続は無理ではないか?

- 住み慣れた家で家族と暮らし続けることを希望している



## 訪問看護の導入



### 訪問看護師のケア内容

- ① 訪問看護師は連日訪問し、奥さんからのSOSにも急いで駆けつけるなどの迅速な対応を重ねました。
- ② お客様本人やご家族から、それぞれ別にゆっくりと話を聞き、想いを受け止めました。  
お客様に対しては、**回想法 (昔の経験や思い出を語り合う心理療法の1つ)** を行い、心穏やかな時間を作りました。
- ③ 同居していないご家族に連絡を取り、全員が介護に関われるような提案をしました。
- ④ 認知症の症状の対応方法を他の職種にも共有し、訪問介護等の他のサービス導入を促しました。



## 訪問看護導入の効果

- ① 訪問看護師に対しご本人は話をする事で気持ち落ち着くようになり、奥さんへの暴力・暴言がなくなりました。
- ② ご家族も認知症の症状について理解するようになり、疎遠になっていた長男や長女も介護に参加し、家族で協力しあうようになったことで、奥さんの介護疲れが軽減されました。
- ③ ご本人と家族が、安心して在宅で療養生活を送ることができるようになり、かかりつけ医やケアマネジャー、訪問介護員等のチームで対応できる環境が整いました。

